

青 山 小 だ よ り

平成29年 12月1日
港区立青山小学校 NO.8
校長 下城 英和

展覧会の目的

校長 下城英和

12月に入り、街中でも冬の風情が感じられるようになって参りました。保護者、地域の皆様におかれましては、御健勝のことと存じます。

本校では、今日、明日と今学期の大きな行事の一つである展覧会を体育館で行います。「青山フォレスト」をテーマとして、子供たちが一所懸命に取り組んだ作品を御覧いただきます。一人一人の作品、ひとつとして同じ作品はありません。子供たちは、長い時間をかけて作品に向き合い、作品をとおして自分の思いや考え、個性が表現できていると思います。多くの皆様に御来校いただき、御参観いただきますようお願い申し上げます。

さて、長い時間を要する展覧会の目的についてあらためて考えてみたいと思います。昨年度の学芸会と似ているところはあります。第一に自分の考えや思いを的確に表現しながら問題を発見し解決する能力を育成し、創造性の基礎を培い、社会の変化に主体的に対応できるようにすることです。第二に表現する活動を通して、調和のとれた人間の育成を目指すことです。表現することは、個々がもっている知識、心、技能などを統合していくことにつながるのです。第三に制作するだけでなく、見ることで新たなる制作意欲を呼び起こし、生涯をとおして芸術に親しみ、表現する喜びを味わわせることです。子供たちは、これらの目的を子供たちは意識することはないかもしれませんが、一つ一つの活動をとおして自然と身に付けられ、それが将来、生きていく上で必要な一つの資質につながっていくと考えます。

これから急速な変化と共に予測が困難な社会を生きていく子供たちに育成していかなければならない資質は、これらのことも含み、細かく見ればたくさんあります。平成32年度から始まる新学習指導要領では、大きく「何を理解して、何ができるか」、「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の3つに整理されています。そして、この必要とされる資質の一つ一つを学校が主体的に育成するだけでなく、保護者・地域の皆様とも連携しながら取り組んでいくことが求められています。子供の資質の育成に関わる全ての教育活動を見ていただきながら、共に共有していただき、理解していただき、考えていただき、よりよい改善に向けて協働していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

<2学期の健康向上月間の取組の結果について> 提出率：平均86%

10月に御協力いただきました健康向上月間の取組がまとまりました。別紙にて家庭数で配付をさせていただきました。各項目の傾向を御覧いただき、冬休みに向け、各御家庭での規則正しい生活リズムの確立の一助にいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。（3学期にも取組を実施いたしますので、御協力をお願いいたします。）